

ふれあい 三輪南

第37号

令和6年(2024年) 3月発行

発行者：三輪南自治会連合会 社会福祉協議会三輪南支部 三輪南まちづくり協議会

地域住民皆さまとの共助共栄

三輪南自治会連合会
まちづくり協議会

会長 野口正晴



令和六年一月一日能登半島地震により被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。

日頃は、自治会活動・まちづくり協議会に深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、大きな事故もなく、平穩無事に過ごす事の出来る日々です。

自治会とは、『地域住民の自発的な意思による地域の発展と住民福祉、住民相互の融和及び文化の向上を図り以て豊かな住みよい地域づくりに奉仕する事を目的とする』と一般的に言われているのが基本理念です。

昨年五月にコロナウイルスが五類になり色々な行事開催をしまいりましたが、コロナ感染症以前の様な

活動には戻りません。早く生活環境が戻りますことを願います。

地域特性を考慮した、防災における現実的な対応が、今、急務です。行政による、危険箇所改善、インフラの整備は、市・県に強力に要望しております。そして連合会では自主防災隊を組織して、単位自治会を核とした、地域の防災ネットワーク構築に、全力を挙げていきます。なかでも避難行動要支援者の方々の把握、支援体制が出来ているか民生・児童委員、社協・福祉委員の皆さまと連携した実効性のあるものにしていきたいと思えます。

単位自治会が(私たちの地域の安全は私たちが守ろう)と集合したのが、三輪南自主防災隊であり、三輪南自治会連合会だと考えます。この地域力をさらに強固なものにして、安心・安全で住みよい地域づくりに、皆さまのご協力を賜りますようお願いいたします。



令和五年度二十歳のつどい開催

三輪南青少年育成市民会議会長

自治会連合会副会長

北川 幸司



一月七日(日)午後三時より北東部コミュニティセンターにて二十歳のつどいを開催しました。

開催に当たりましては、総務部会はもとより、各地区自治会長全員の協力があり、三輪南八十八名、三輪北十二名の参加を得て盛大に開催できました事に感謝申し上げます。

私は、昨年度に引き続き、式典の企画運営全般に携わりましたが、たまたまではありませんが、柴橋正直市長を迎えることが出来たことが一番の名誉です。



三輪南・北 二十歳のつどい 令和6年1月7日 於 北東部コミュニティセンター



三輪南・北 二十歳のつどい 令和6年1月7日 於 北東部コミュニティセンター

地域の大人の姿から学べる幸せ

岐阜市立三輪中学校 校長 鷲見 紀子



日頃から、地域の皆様には、学校の教育活動をはじめ、様々な場面でご協力

三輪中の生徒は、よく挨拶をします。「感じの良い生徒ですね」とよくほめていただけます。これは、地域の方々のおかげです。

五月に、新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、学校での様々な活動が「元通り」に実施できるようになってきました。特に、対面による行事の復活は、大きな出来事でした。例えば、今年度、水防訓練が実施されました。練習を経て素晴らしい姿に高めていただきました。実際の演習では市長からのお褒めのお言葉もいただきました。また、十月に実施した「ディスプレイ三輪」では、地域の方々に講師として授業をしていただき、生徒達が目を輝かせて参加できる学びの場を提供していただ

きました。地域の大人のすごさを実際に見せていただけたのは、いろいろな活動に制限があった生徒にとって、何物にも代えがたい生きた学びになりました。

学校だけでなく、生活の中に「C」が多用されています。それは今後も更に加速すると思っています。しかしながら、実際に人と顔を見てふれあうことや、手を携えて活動することでは味わうことができない感動や喜びはあると思っています。体と心を動かすような体験をいくつも経験することが、生徒にとって、今後、人の中で生きていくための力になると信じています。私たち教員も、生徒の声や表情、行いから、日々の活力をもらっています。生徒から学ぶことも多くあります。コロナ禍前のような活動ができることを、本当にうれしく思っています。今後、学校では生徒たちに様々な体験をさせていきたいと思っています。地域の皆様にもご理解とご協力をいただけると幸いです。

ふるさとへの誇りを胸に育つ心

三輪南小学校 校長 石田耕太郎



山はみどりの色深く

三輪はめぐみのつきぬ里、三輪南小学校の校歌は、ふるさと三輪の豊かな自然の様子から始まりま

学年が、再び校歌を歌い始めました。三年以上前を思い出しながら歌う高学年の歌声を聴いていると、ふるさと三輪への誇りが感じられました。同時に、今年度出席させていただいた「二十歳のつどい」においても、代表である二十歳を迎えた若人から語られる今日の日を迎えた思いや感謝の言葉、来賓や恩師の話を真剣に聞く姿、久しぶりの再会をともに喜ぶ姿等、ふるさと三輪の愛情をたっぷり浴び、二十歳の今を精一杯生きていく実感が伝わってきました。こうした姿が生み出される心こそが、この地で暮らす人々が、これまで大切に受け継いできた誇りが育んだものではないでしょうか。

しかし、この三年間新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、校歌を歌うことですら控えざるを得ませんでした。実際、コロナ禍に入学した現一年生から四年生までは校歌を歌うことが出来ませんでした。歌い継がれてきた校歌が！私たちのふるさと風景や願いが！途切れてしまふ。そんな思いの三年間でした。制限が解除された今年度、コロナ禍以前に校歌を歌った経験がある高

三輪の街には、「子どもといっしょに」と書かれた看板が様々な場所に掲げられています。記されてはいない、「いっしょに」の後に続く「地域の願い」がふるさとへの誇りを育み、それを浴びた子どもたちが、「未来のふるさと三輪」を創っていることを日々実感しています。

**令和五年度
市民消防隊活動報告**
消防隊長 森下 孝春

令和五年度の訓練を紹介し
六月十一日 水出し訓練

辞令交付

七月 九日 水出し訓練

浄水器取り扱い訓練

八月十三日 水出し訓練

八月二十七日 水出し訓練

浄水器取り扱い訓練

九月 三日 南校区防災訓練本番

水出し訓練とは

小型動力ポンプにて校庭西南の地下式貯水層(一〇〇トン)より吸い上げ東に向け隊員五人が一チームとなりホース二本使い大災害の時器具庫近くの火災に対処すべき訓練です

浄水器取り扱い訓練とは

大災害時 水道管が破損して飲み水が不足した時 防火水槽や川の水を飲料水に変える装置です
岐阜市の防災倉庫に配備して有り有事の際に市民消防隊が水の配給が出来る様に訓練しています
隊員十八名は有事の際スムーズに出来る要に日頃から訓練して居ます
写真は浄水器の訓練中です



岐阜市北消防団三輪分団
副団長 古田 芳弘

平素は消防団活動に格別のご理解ご協力賜り誠にありがとうございます。

十一月二十六日に鏡島大橋北駐車場にて特別点検が実施され他分団と共に演習を実施しました。

十二月二十七日に年末特別夜警の出発式を長良川防災・健康ステーション駐車場にて、十五台の消防車両が集まり実施されました。

一月八日に初式が実施される予定でしたが、元旦の能登半島地震の影響により中止となりました。
年末から年始にかけて団員募集を行いましたが集まっていただけなのが現状です。消防団に少しでも興味を持っていただくと

輪分団として努力していきませんが、地域の皆様にも協力していただきたいと思っております。

三輪地域の皆様の安心、安全を守っていただけるよう努力していきますので、皆様のご協力お願いいたします。



岐阜北交通安全協会
三輪南支部長 小澤 馨

三輪南自治会員の皆様方には日頃から交通安全にご理解賜りありがとうございます。
春・夏・秋・年末の交通安全県民運動八回・各月十五日七回合計十五回の啓発活動ありがとうございます。
おかげさまで地区内での小規模な交通事故は多々ありますが大きな事故は起っていません。交通事故の特徴を見ますと高齢者の運転中や横

断歩道での事故、自転車の事故(ヘルメット無着用)、子供と高齢者を始めとする歩行者への安全確保、飲酒運転、妨害運転など交通事故を起こさない安全で安心をめざす事を皆様にお願いたします。夏に学校を通じて全児童を対象に募集した所「安全スローガン」四十八点「安全ポスター」三点合計四十八点が寄せられました。北署、各種団体、学校、自治会、南支部、聖マリア等にお願した所百十名の方に選んでもらい集計し優秀作九点を選びました。学校と相談して十二月二日土曜活動日の「よっこそ先輩」終了に合わせ全校生徒達の前で表彰する事にしました。北署の交通課と打合せを行い県警本

交通安全スローガン

岐阜北警察署長賞

- ・おねえちゃん かみがたよりも ヘルメット
- ・そのスマホ いま必要? 命より?

交通安全協会協会長賞

- ・雨の日は 目立つ色で ってきます!!
- ・見てほしい けいたいよりも わたしたちを

三輪南自治会連合会長賞

- ・あぶないよ しんごうなくても 右左
- ・ゆずり合う その行動が 安全への道



部からサインカーを借用して安全スローガンを表示する事にした。「安全スローガン」六名「安全ポスター」三名の子に表彰状と副賞を贈りました。続いて、北署の桂川副署長さんが講話をし「交通ルールを守ることが命を守ることに」応募のあった、標語やポスターのことを家族や近所の人たちにも伝えてほしい」と呼びかけた。

交通安全ポスター 交通安全協会三輪南支部長賞



会合を終え、それぞれが青パトに乗車して、一日警察署長であるタレントの河路由希子さんの激励を受け、白バイ

初めに、北警察署生活安全課員による管内の事件・事故発生状況の説明があり、特に特殊詐欺事件の発生が後を絶たないとの説明を受け、他人ごとではないと痛感致しました。一時間の

令和五年十二月六日、岐阜メモリアルセンターにて岐阜北警察署管内の各地区連合会等が集合しての年末警戒出発式が開催され、三輪南地区からも、自治会連合会会長と共に参加しました。

年末警戒出発式
三輪南の安全を守る会
北川 幸司



平素は赤十字奉仕団の活動にご協力いただきまして誠にありがとうございます。

赤十字奉仕団
団長 田口 典子

やパトカーの先導により出発し、メモリアルセンターから鷺山方面をパトロールして流れ解散となりました。今後も三輪南地区の各種団体や連合会等の協力を得て昼の見守りや夜警を続けたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。



今後も三輪南地区の各種団体や連合会等の協力を得て昼の見守りや夜警を続けたいと思いますので、皆様のご協力をお願いします。

コロナも五類に移行され、私達の活動もコロナ前に戻りつつあります。

十一月四日の文化祭ふれあい広場では、皆さんの協力で集めた不用品バザーを行い、手作り小物もあり大変喜ばれました。

また、十一月二十一日には、北部ブロック防災研修で段ボールベッドと簡易トイレの作成・アルファ米の作り方を学びました。

今後防災訓練等の機会には皆さんと一緒に作ってみたいと思います。

その他、献血活動として、十一月二十三日北東部コミセンで行われ九十三名の方に協力していただきました。

十二月十七日には、マッサージでの献血活動にも協力しました。血液不足の中、多くの方の善意に触れ感謝いたします。



今後も皆様のご協力をお願いいたします。

市民運動会によせて

体育振興会運動会部長

長谷川 徳夫

十月二十二日に開催されました運動会に自治会連合会、各種団体等参加者皆様にたくさんのご協力をいただきました。深く感謝とお礼を申し上げます。

今回の運動会はこの様に感じましたでしょうか？

自治会加入率が低下する中、運動会を行なわない他校下も有るなか、この先、何年も続けていける新しい運動会をと考えプログラムを決めました。私の思う所よりも地区対抗の負担が重いと感じ会議の上、無くしました。

宅配リレーは当方の予想の倍以上のチーム参加でうれしくなりました。



かけっこは子供達が自由に走る単純な事ですが、単純なことにみんな笑顔で駆けて、最後にして良かったと思います。

体育振興会にこれからも、ご協力ご理解をおねがいいたします。

ふれあい広場の開催を通じて

文教部会 常任委員

古川 幸弘

三輪南の地域に文化祭とふれあい広場による賑わいが、四年ぶりに戻って来ました。無事故で終わることが出来て、関係各位の皆さまの多大なご助力に感謝しております。

コロナ禍による四年のブランクは大きく、出店団体の縮小、商品の変更、特に口に入れる物への抵抗感から変更となった他、テント間の仕切りの問題がありました。設備についてもプロパンガス、消火器の設置個数と位置など様々な制約の中、当日朝には消防署からの点検及び衛生面での確認を経て開催を迎えました。

当日は天候にも恵まれ、開始一時間前には来場者が会場いっぱい状態になりました。市役所・消防署・保健所の方々、会場設営準備、来場された地域の方々、商品を作り上げて販売するまでの関係者同士等、



様々なふれあいを通じて「文化祭・ふれあい広場」は、みんなの笑顔で終わることができました。来年もさらに楽しく多くのふれあいが生まれるよう期待しています。

令和五年度敬老会

社会福祉部会 部会長

藤吉 和夫

令和五年九月十八日(月・祝日)北東部コミュニティセンターにて敬老会を開催いたしました。

三輪南地区の高齢者(八十歳以上)から、百四十二名に出席をしていただきました。

第一部の式典では、野口正晴連合会長の挨拶のあと、岐阜市長(代理) 幼児教育課長 岡本智子様・県議会議員 中川裕子様・市議会議員 箕輪光顕様から祝辞を頂きました。つづいて長寿祝い金を代表者に贈呈し、代表謝辞を春近の松田孝弘様にお願ひし、皆様の元気なお姿を拝見致しました。

第二部では、三輪中学校コーラス部の皆さんと、アンサンブルさくらの楽器演奏とのコラボによる心温まるメロディーや、ダイナミックな和太鼓の実演に感動するなど、有意義な時間を過ごす事が出来ました。



SDGsとは

自治会連合会
副会長 田中幹雄

チョットかつこつつけて難しい事から入ってみました。十七の目標があるそうです。日本ユニセフ協会では中学生に向けて三つの項目を提唱しています。01 不平等をなくそう 02 暴力や差別をなくそう 03 地球環境を守ろう
現在の私にはこれぐらいが丁度よいか

環境・整備部会長を仰せつかって資源分別回収の案内を発送しています、がその結果が自治会員多くの協力あっても、すごく寂しい金額なんです。昔々の話をして申し訳ないですが、幼少期小遣い稼ぎに鉄屑を拾い集めて筆一杯持つて行くと何枚か十円玉が貰えた記憶があります。半世紀以上前「古き良き時代」その時のオジサンが小遣いを与えてくれたかと思えます。現在十円玉を何枚もと言つと数十キロ持つて行かないとダメみたいです。地球環境を守るために資源回収をする訳で、決して金銭を目的ではないですが、皆の努力が目に見えて「やってよかつた」と言える日が来るのでしょうか？
きっとやつとけば良かったは必ず訪れるとおもいます。

三輪南青少年 育成市民会議

副会長 門田 幸子

「子どもといっしょに」をスローガンに「家庭の日」普及啓発を意識して取組を行っています。

夏休みラジオ体操は地区や家庭で進んで参加出来るように夏休み前の放課後に体育館で子どもたちに説諭し、岐阜市スポーツ推進委員でもある、北川幸司三輪南青少年育成市民会議会長による、実技研修も行いました。更に、保護者に対しても「家庭の日の意義」を伝え、家庭で温かい生活が送れるようアドバイスしました。

八月六日、市民会議が主催で資源分別回収を行いました。暑い中、多くの方にご協力頂きありがとうございました。各地区の様子を巡回しながら、社会環境調査と「普及啓発看板」のメンテナンスを行いました。

九月二十四日、十月一日は、〇歳児対象の「親子ふれあい教室」を開催。音楽遊びでは、本部役員がライオンキングやジバニャンの着ぐるみを着て演奏すると、子どもたちは仲よくリズムに合わせて踊り、会場は和気あいあいと楽しい雰囲気になりました。

ました。その他、警察からのおはなしや、タオルで熊さん作りもして、大変喜ばれました。
今後子ども達の目線に立った内容で、「子育て支援」を行いたいと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。



まちづくり通信

教育育成部会

子どもたちに寄り添う活動目指して!

部長 門田 幸子



今年度は、八月二十七日、三輪南小学校で開催された「みわっ子ゾクゾク

お化け屋敷大会」に、毎年恒例のかかしを更に進化させ「怖いお化けかかし」と共に、楽しく参加させていただきました。

この行事は、三輪南小学校・学校運営協議会の地域活動部会が運営の中心となり、学習支援部会、安全安心部会、中学生や地域の大学、企業等の多くの協力を基に、新規の活動として、開催されました。

地域活動部会に属する、まちづくり協議会、教育育成部会は、「お化け屋敷」を担当することになり、体育振興会、青少年、どんぐりクラブのスタッフの積極的な協力を得て、初挑

戦です。安全第一、かつ、子どもたちがワクワクゾクゾクするような質の高いお化け屋敷を目指しました。

当日までに、何度も打ち合わせを重ね、アイデアを出し合い、広い校舎内をどうやったら、怖いお化け屋敷に変身させるかが課題で、当日が近付くにつれ、焦り、皆さんと一丸となって本気で取り組みました。

お化け屋敷には、演出が大切です。農業用黒ポリマルチを大量に壁に貼り霧気作り。笹竹を設置して、壊れかけた提灯、ろうそく、木魚、お面効果音を準備。メイン通りには、ブラックライト、冷風扇、霧吹き等も設置して、やっと、お化けかかしも登場です。そこへ、スタッフは、蒸し暑い中、高い脚立に股がり、汗だくで、子どもたちを待ち構えました。

予想を上回る約四百人の子どもや家族が参加してくださり、薄暗い中を恐る恐る訪れると、強烈な風やお化けが現れ、会場には、「キャー・キャー」の悲鳴が響き渡ります。スタッフは、更に力が入り、二時間という長い時間も忘れ、力一杯頑張

ました。

まさしく、子どもたちの声が大人たちの本気への回答となり、子どもたちに寄り添う活動は、一体となり、目指していた魅力ある楽しい地域との交流となりました。

そして、何より、子どもたちにとつて、夏休みの楽しい思い出となれば幸いです。



三輪南どんぐりクラブ

元気いっぱい。

仲よく楽しく活動

代表 門田 幸子



岐阜市放課

後子ども教室

「三輪南どん

ぐりクラブ」

は、地域で安

全・安心な子どもの居場所をつくり、次の世代を担う子どもたちに、皆さまの協力を得て、遊びの場・体験の場・交流の場を提供し、心豊かな子どもを育てることをねらいとして活動しています。

二十周年を迎えた今年度も、大勢の参加希望があり、体育館いっぱい、元気で仲よく、楽しく活動することが出来ました。

子どもの自主性や学年を越えた交流を通して、子どもたちが心身共に成長されたことと信じてやみません。

「朝から楽しみにしているよー」という子どもたちの声にスタッフ一同、目を細めて全力投球しました。

後半の活動は、「スポーツを学ぶ会」「お楽しみ新聞教室」「和紙染め教室」等、外部講師もお招きして、本格的な体験も楽しみました。石田校長先生は毎回、足を運んでくださり、会場はいつも、笑顔に包まれました。

開設当初から取り組んでいる「ハンドベル演奏」は、三輪南文化祭や岐阜市少年自然の家「遊湯・わくわく三輪」にて、ステージ発表をすることが出来、楽しい思い出がたくさん詰まった一年となりました。関係各位に心よりお礼を申し上げます。



社協だより

岐阜市社会福祉協議会
三輪南支部主事
山田 寿雄

平素は、当支部の諸事業に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度は、コロナ感染症の扱いが五類に移行したことに加え、岐阜市社会福祉協議会、地域包括支援センター北東部、三輪南公民館のご協力を得て、ほぼ予定通りに事業を実施することができました。本当にありがとうございます。

十月二十三日の岐阜市民福祉大会では、長期にわたるボランティア活動への貢献として、ふれあいいきいきサロンの代表者一名と、みわっこすくすくのスタッフ四名を表彰していただきました。

みなさん、おめでとうございます。これからもよろしくお願い致します。

今後、いろいろな方と協力して、誰もが安心して心豊かに暮らすことが出来る福祉のまちづくりに取り組みたいと



思います。

ご協力の程よろしく申し上げます。

第二回・第三回 福祉委員研修会を実施

八月二十九日に、第二回福祉委員研修会を民生委員・児童委員協議会と共催で実施しました。

講師は、中村正信民生委員・児童委員協議会会長（社会福祉協議会副支部長）で、「民生委員・児童委員及び福祉委員の連携」についての講演会でした。

その内容は、次のとおりです。

- ①連携の意義と必要性
- ②三輪南地区の現状把握
- ③課題と今後に期待すること
- ④私たち民生委員・福祉委員の背景にある今日的な課題
- ⑤民生委員・児童委員と福祉委員との間にある課題
- ⑥民生委員・児童委員は、福祉委員からの情報が大変大切な機会が少なかつたので、貴重な時間となり

これまでの

から情報が大変大切な機会が少なかつたので、貴重な時間となりました。



十一月三十日には、第三回福祉委員研修会として、岐阜県福祉友愛アリーナと福祉友愛プールの見学会をしました。

この施設は、国内公式競技会場としての設備を整えており、東京パラリンピックの事前合宿でも使用されました。障害のある方のスポーツ発展に大きく貢献しています。

東京パラリンピックで見た車いすバスケットの試合では、「障害を持った方達でも健常者以上のすごい選手がいるんだ」と大変驚きましたが、この見学会でも、見たことのない世界を知ることができ、とても有意義な研修でした。



緊急医療情報キット (命のバトン)普及事業

緊急医療情報キット(命のバトン)普及事業は、災害時や日常緊急時に医療情報や緊急連絡先等を知らせ、迅速かつ適切な対応ができるようにする普及促進事業です。

今回(令和六年の能登半島地震)の教訓からも、こうした事業は、ますます

重要になってきます。他人事と思わないで、少しでも多くの方に活用していただきたいと思えます。

今年度は、七十六歳の方と七十七歳の未作成者の方を対象に、緊急医療情報カードとステッカーを配布しました。ぜひ、作成してください。

お願い

- 玄関の内側にステッカーを貼付してください。
- 緊急医療情報カードを記入後、ステッカーと共に冷蔵庫等に貼付してください。

高齢者の つどいを実施!

高齢者のつどい(落語会)を、十月二十一日に北東部コミュニティセンターで開催しました。

六十五歳から七十九歳の方を対象に参加募集をしたところ、四十四名の方々にご出席をいただき、本当にありがとうございました。

出演は、落語愛好家、各種の会合で社会奉仕されている「揖斐屋 茶富輪」こと安達賢一様、「ちりとてちん」という演目の落語を披露していただきました。

軽妙な語りとしぐさは大変好評で

した。

また、奥様でオカリナ演奏家の安達美香様には、「学生時代」「瀬戸の花嫁」「上を向いて歩こう」等、なじみの曲を演奏していただきました。

一時間ほどの時間でしたが、楽しいひと時でした。



支え合いマップづくり (石原地区)を実施

近年、少子高齢化や核家族化の進行などで、地域住民のコミュニケーションが希薄になっています。

支え合いマップの作成は、災害が発生したときや災害の恐れがあるときに、要避難支援者を円滑に避難させるため、地域の人々の連携を密にするため、安心して心豊かに暮らせる地域にするために必要です。

三輪南地域では、五地区の自治会連合会ごとに、順番に支え合いマップを作成しています。今年度は、十二月九

日に、石原地区の自治会長・民生委員・福祉委員・いきいきサロンの代表者等多くの方々にご出頂いただき、マップづくりを実施しました。

皆様は、地区の情報を十分に把握されており、スムーズに作成することができました。

今回作成したマップは、作るだけではなく活用して初めて意味のある資料となります。地域福祉のためのツールとして、有効に活用していただきたいと思えます。



フレイル予防の三本柱

岐阜市北保健センター 保健師
山田 奈由

「フレイル」という言葉を聞いたことがありますか。加齢に伴い、身の働きや社会的なつながりが弱くなり、健康と要介護の狭間にある状態のことです。「年だから仕方がない」と放置すると、健康や生活機能を損なう恐れがあるため、予防・改善が大切です。

フレイル予防・改善のおもな柱は、食生活・運動・社会参加です。一日三食バランスの良い食事、魚類に多く含まれるビタミンDをとり、適度に日光浴をすること、ウォーキングや足腰の筋肉をきたえる運動を自分のペースで実施すること、買い物・通院・散歩・趣味で外に出ること、家庭や地域で役割を持つことなどが大切です。ちょっとした積み重ねが健康長寿をもたらす力になります。小さな衰えのサインに気づき、フレイル予防の三本柱を生活に取り入れましょう。

今後も、三輪南地区の皆様と協力して、健康づくり活動に取り組んでいきたいと思えますので、よろしくお願ひします。



第二十二回(令和五年度第二回) 三輪南地域ケア会議

岐阜市地域包括支援センター北東部
吉口 千代子

十一月十七日に、今年度二回目のケア会議を実施しました。

今回のテーマは、「高齢者虐待について」で、自治会長、社協の評議員、民生委員、福祉委員、医療関係者、

介護サービス事業所員等、六十名の方に参加して頂き、講演とグループワークを行いました。

講演では、
①虐待の種類には、身体的虐待、心理的虐待、性的虐待、経済的虐待、介護世話の放棄・放任の五つに分けられていること

②虐待を早期発見し、事態の深刻化を防ぐことが大事であり地域で支え合うこと

③何か気づいたときは、一声かけて介護者が孤立しないように意識を持ち見守ること

④普段から高齢者や擁護者に挨拶したり、声をかけたりすること

⑤相談先を知っておき、心配なときは相談することが必要であること
を皆さんと共有できました。

グループワークでは、「さりげない見守りが必要」「異変を感じたら関係機関に相談します」などの意見が多くありました。

来年度も、皆さんと一緒に、三輪南ケア会議で考えていきたいと思えます。



子育て支援「みわっこすくすく」は、地域の皆様や関係者の温かいご支援とご協力を賜り、回を重ね充実して参りました。

今年度は、毎月予定通りに開催でき、保護者の方々とスタッフ一同楽しんでいきます。

十月二十八日には、思いがけず三輪中学校の「ディスカバリー三輪」に参加し、協力させていただきました。三輪中の生徒さんやみわっこすくすくに来てくださったっている数組の親子の皆さんとの触れ合いを楽しむことができました。

後日、生徒さんから「乳幼児にはゆっくりしたテンポで、優しく丁寧に接すること」「言葉では伝わらなくても、しぐさでしてほしいことがわかるような気がした」等の感想を寄せてもらいました。



十一月には、クリスマス会を行いました。クリスマスソングを歌ったり、サンタさんからクリスマスプレゼントを頂いたり、とても盛り上がりしました。

お家の中で、子育てで疲れてストレスがたまっていますか。そんな時は、ぜひ「みわっこすくすく」をご利用ください。

月に一回の貴重な時間です。お気軽にお出かけください。

自治会の回覧版やSNSでのご案内しますので、ぜひご覧ください。

これは、手で回すとお菓子が出てくる仕組みになっていて、大好評でした。小さい手で懸命に回す姿が印象的でした。

十一月の「買い物ごっこ」は、袋に入ったお菓子をチケットと交換して買いました。その中で「種類段ボールで手作りした「ガチャガチャ」を設置しました。

触れ合いを感じられ、少しでもお役に立ててよかったと思えました。

十一月四日は、「ふれあい広場」で、焼いもコーナーを担当させていただきました。

スタッフも地域の方と触れ合うことができ、とてもよかったです。特に、みわっこに来ていた子の顔を見られ、なつかしい話げできたことは、何よりでした。

いきいきサロンだより

石原いきいきサロン

代表 橋爪クミ子

石原いきいきサロンは、毎月第一月曜日に、石原第一公民館で開催しています。

このサロンは、お茶会・ひな人形や七夕飾りづくり・クリスマス会等、季節に合った行事も計画しています。また、漢字の読み方や計算ドリルクイズなど、脳トレも取り入れているので、とても楽しみです。

日常は、お茶やコーヒーとお菓子の茶話会、おにぎりやお弁当の昼食会です。

ときには、季節の野菜を使った料理やりんご・かき・みかんなど果物の差し入れもあります。

最後は、お楽しみのトランプをやって終わります。とても盛り上がるので、時間の経過を忘れてしまうほどです。

これからもがんばって続けたいです。



社会福祉協議会法人会員のご紹介

令和5年度に、ご協力いただきました法人会員は次のとおりです。（五十音順）



■特別会員法人(会員1口、1万円)

法人	地区	法人	地区	法人	地区
(有)安寿	太郎丸諏訪	岐阜北建設(株)	茂地	(株)藤吉鉄工所	太郎丸諏訪
石田内科	福富出口	岐阜女子大学	太郎丸	不破クリニック	太郎丸北郷
鶴飼不動産(株)	福光東	岐阜信号施設(株)	福富天神前	(株)洞田製作所	三輪
大前医院	太郎丸新屋敷	(株)岐阜文芸社	三輪ぶりんとびあ	松田歯科医院	福富町田
小川薬局	世保	中日本防水(株)	太郎丸野田	(有)丸豊藤吉組	太郎丸諏訪
川出内科クリニック	太郎丸新屋敷	中村歯科医院	太郎丸中島	みわ眼科	春近古市場南
岐阜掛軸(株)	太郎丸北浦	(株)春近製作所	春近古市場北	山口精機工業(株)	福富永田

なお、ご協力いただいた法人会員については、岐阜市社会福祉協議会の広報誌「社協だより182号」(1月15日発行)にも掲載されております。今後ともご支援いただきますよう よろしく申し上げます。